



炬火を掲げていざ謳う

No.41



# 我々の泉鳥取

2023年5月8日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

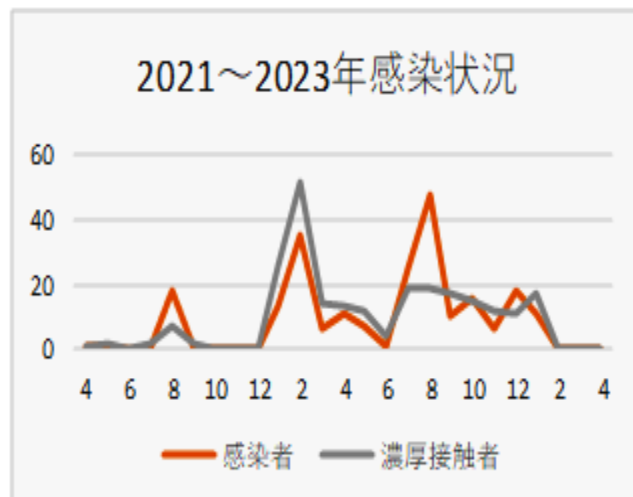
## 新型インフルエンザ 5類相当へ

— 2020年からのパンデミックを振り返る —

2023(令和5)年5月8日、これまで感染症法上、2類に準じる感染症として、史上まれにみる感染防止策を行った新型コロナウイルス感染症が、毒性と感染者数の低下から、3年ぶりに季節性インフルエンザと同様の5類感染症に位置付けられることになりました。2019(令和元)年12月以来続いてきました感染予防対策、感染後の措置についても、5類に格下げされます。学校の教育活動では、対面の喫食や音楽での合唱、家庭科での調理実習等制限が加わっていた教育活動も以前のように展開できることとなります。これを機に、泉鳥取高校における、新型コロナ感染症についての対応を振り返り、それを歴史としてとどめたいと思います。

### 2020(令和2)年度 臨時休校から始まった

2020(令和2)年の3月、当時の安倍晋三首相は、突如「全学校の臨時休校」を発表、この臨時休校は4月まで続き、結局5月には分散登校、6月から徐々に授業再開となりました。生徒たちも先生方もマスクをしたままの授業となりました。家庭科の調理実習や音楽の合唱指導が行えず、体育の実技も対面で行う競技は避ける、日常の授業にも大きな影響が出ました。右のグラフは2021(令和3)年度から今年度にかけての本校の感染状況を折れ線グラフで表したものです。



### 人との対面が大切 人と出会う教育

2022(令和4)年度卒業の44期生はこの影響をもちに

### 新型コロナの「5類移行後」の対応①

		現在 (~5月7日)	5類移行 (5月8日~)
外来 発熱患者等の 対応	対応	●「診療・検査医療機関」(いわゆる発熱外来)を中心に対応	■ 広く一般的な医療機関で対応* ※自院での診療困難な場合には、当該医療機関が、診療可能な医療機関への受診を案内 受診前に医療機関に連絡し、受診時はマスクを着用してください。
	費用	● 新型コロナに関する費用(検査等)は、自己負担なし ● 初診料等は、自己負担あり	□ 医療費等の自己負担あり* ※新型コロナ治療薬(ラゲブリオ、ソコバ等)の薬剤費のみ、自己負担なし
入院	対応	● 入院受入医療機関が受入れ	■ 重症、中等症Ⅱ(酸素投与必要)の患者 → 入院受入医療機関が受入れ ■ 軽症、中等症Ⅰで入院を要する患者 → 入院受入医療機関に限らず受入れ
	費用	● 医療費は、自己負担なし ● 新型コロナ以外の費用や入院時諸費用等(差額ベッド代)は自己負担あり	□ 医療費等の自己負担あり* ※高額療養費制度の自己負担限度額から原則2万円を減額した額が自己負担の上限

受けました。入学式は行えず、修学旅行も体育祭も中止、文化祭も出し物を制限され、舞台発表なしで実施、部活動の練習も制限が大きく、全国大会が軒並み中止となり、高校での思い出を作る場面が極端に減りました。

クラスづくりや集団作りでもアイスブレイキングのワークショップもできないため苦心をしました。しかし、これは本校だけではなく、全国的にこの状況となりました。

逆に学習の遅れを取り戻すため、「一人一台端末」、つまりネットを通じた遠隔地での授業受講が可能となりました。

オンライン授業やオンデマンド授業が行われる反面、教育における「人と対面する」ことの重要性を改めて認識させられた3年間となりました。